

福島県大学生と集落の協働による地域活性化事業
獨協大学 × 昭和村松山地区

獨協大学大竹ゼミ

獨協大学大竹ゼミチームについて

獨協大学経済学部大竹ゼミでは、人と自然の関わりについて考察する経済地理学の観点から、持続可能な農業・農村地域の実現に向けて、エコツーリズムやグリーンツーリズムを活用した地域振興について学んでいます。



松山地区のイメージと実際

イメージ

- 昭和村は地図を見ると山の中の細長い集落、という印象
- 獨協大学の所在地である草加市と姉妹都市であり、親近感がある

実際

- 特産であるカスミソウは日本シェアトップであり、村の基幹産業
- からむし織やブドウの蔓などを使った編み組細工などの伝統工芸技術が保存されている
- 住民の多くが、野菜や果物など栽培しておりどれも美味しい

今年度の活動内容

- 8月と1月に現地調査に入り、松山地区の暮らしを見学・体験

8月の活動内容

地区の農地の見学

昭和村の自然探索

地区のおかあさんたちのお料理教室

1月の活動

雪かき体験

お料理教室



活動により発見した課題・活かすべきこと

- 松山地区には、料理や工芸、農業などの特技を持っている人がたくさんいるが、可視化されていない。
- 少子高齢化が進んでおり、農業の後継者がいない。
- カスミソウやからむし織など昭和村の特産品について、草加市民に十分に認知されていない。



課題解決のための提案、考察

- どこに住んでる人が何の特技があるか、わかるようなマップを作ること、地域の魅力を再発見し、可視化する
- 獨協大学を拠点に、草加市やその近隣市町村の人々に対して、昭和村のPRや物品の販売を行い認知度を高めていきたい



今後に向けて

- 昭和村松山地区の皆さんから、教えてもらったたくさんの事から、私たちが特に魅力に感じたことを多くの人に伝えられるよう活動していきます。

